

平成26年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」検証シート

横 堤 中 学 校

生徒数

128

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	34.48	28.42	39.89	52.13		88.52	7.87	188.41	20.25	43.20
大阪市	29.42	27.25	40.64	50.72	406.21	83.32	8.13	188.65	20.44	40.47
全国	29.00	27.45	42.92	51.31	392.89	85.29	8.03	193.43	20.86	41.74
女子	26.41	22.51	46.00	45.85		57.58	9.01	164.41	12.17	49.47
大阪市	23.98	22.69	43.59	45.42	302.75	56.63	9.01	163.40	12.82	47.51
全国	23.70	23.07	45.23	45.63	290.64	57.77	8.87	166.53	12.88	48.66

結果の概要

男女とも、体力合計点で全国平均を上回り、男子では1.46点上回り、女子では0.81点上回った。
 種目別で見ると、男子では握力・上体起こし・反復横跳び・20mシャトルラン・50m走の5種目、
 女子では握力・長座体前屈・反復横跳びの3種目で全国平均を上回った。
 また、前年度の本校の結果と比較すると、男子では体力合計点で2.66点上回り、種目別では長
 座体前屈・ボール投げを除く6種目で上回ったが、女子では体力合計点で0.09点下回り、種目別
 では握力・立ち幅跳びを除く6種目で下回った。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

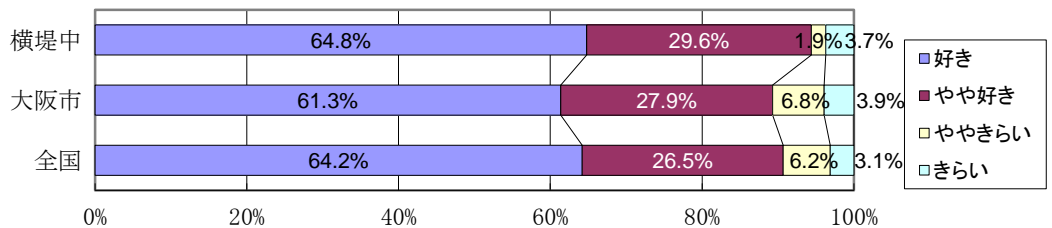
昨年度に男女とも全国平均を下回った「立ち幅とび」「ボール投げ」のを向上させるため、今年度
 は補強運動の際に跳躍力や瞬発力をつけるトレーニングを取り入れた結果、「立ち幅とび」は昨年
 度の本校の平均を上回ることができた。来年度は基礎的な体力づくりとともに、巧緻性を高める運
 動を補強運動だけでなく、体づくり運動の単元の中でも取り組んでいく。
 また、運動に対する興味・関心を高めるために、昨年度に引き続きトップアスリートを招いての特
 別授業や大学教授を招いての部活動指導に今年度も取り組んだ。さらに、ダンス講師を招いて専
 門的な技能や体を動かす楽しさを学ぶ機会を増やすことができた。
 来年度もトップアスリートや専門的な指導者から学ぶ取組を継続し、運動への学習意欲を高める
 とともに、将来に夢や希望を持てる生徒の育成に努める。

運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

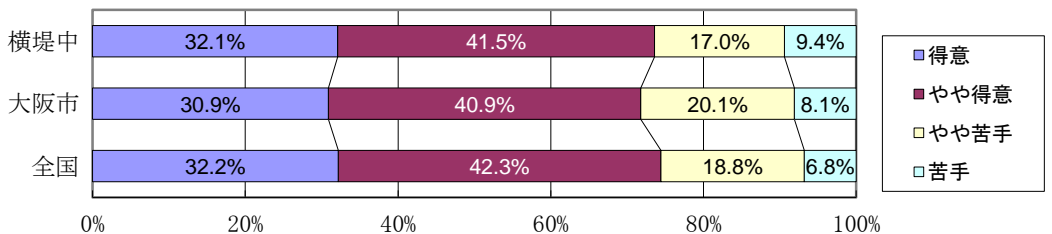
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



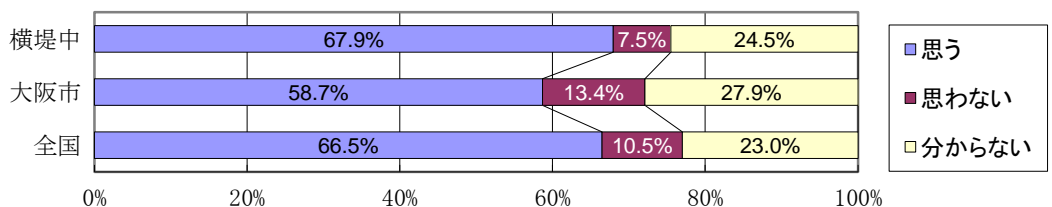
2

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



3

中学を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を持ちたいと思いますか。



成果と課題

- ・運動やスポーツをすることが「苦手」「やや苦手」と答えた生徒が26.4%と全国平均を0.8%上回ったが、運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」な生徒を合わせると94.4%と全国平均を3.7%上回った。これまで生徒の運動やスポーツに対する興味・関心を高めるための工夫に取り組んできた成果である。
- ・中学卒業後も自主的に運動やスポーツを楽しむ時間を持ちたいと思う生徒が3分の2を超え、全国平均を1.4%上回った。運動習慣の定着がうかがえる。

今後の取組

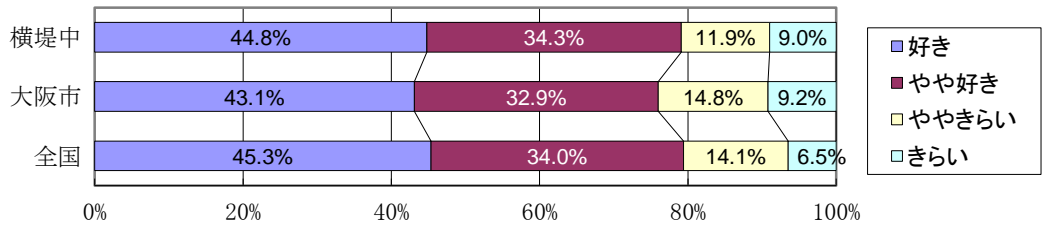
- ・運動、スポーツを「苦手」、「やや苦手」と答える生徒を運動、スポーツを「楽しい」と答えるように、生徒の関心・意欲を高める授業展開の工夫を図る。
- ・球技大会などの体育的行事の活性化を図る。

運動やスポーツについて（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

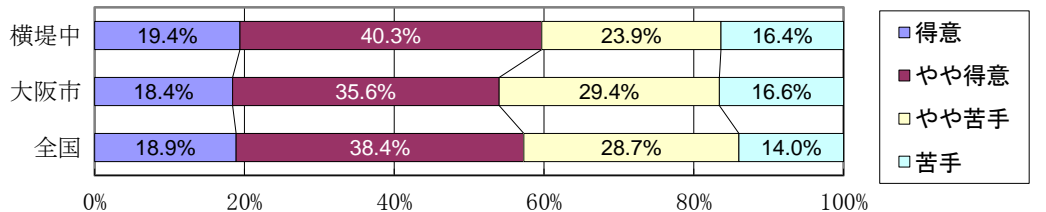
1

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



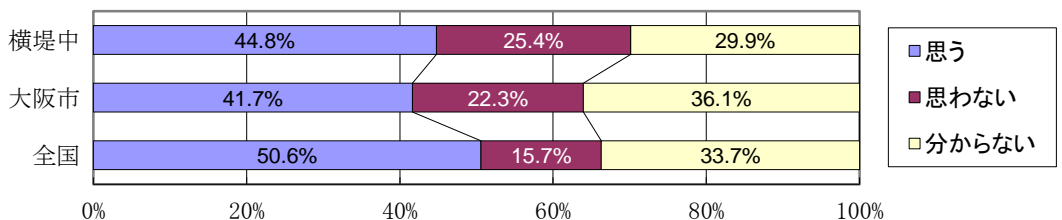
2

運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは得意ですか



3

中学を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間をもちたいと思いますか。



成果と課題

・運動やスポーツをすることが「苦手」「やや苦手」と答えた生徒が4割を超えているが、運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」な生徒を合わせると8割近くになる。これまで生徒の運動やスポーツに対する興味・関心を高めるための工夫に取り組んできた成果である。

・中学卒業後も自主的に運動やスポーツを楽しむ時間を持ちたいと思う生徒が70.2%と、全国平均を3.9%上回った。運動習慣の定着がうかがえる。

今後の取組

・今後も「運動は苦手だけど体育の授業は楽しい」と答える生徒の割合を増やしていくことができるような授業展開を目指していく。

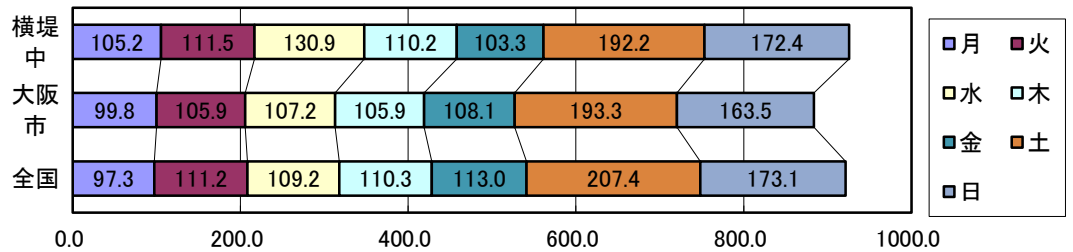
・将来生徒が親しむ運動を選択する際に、多くの種目の中から選択できるように、授業の中でさまざまな種目にふれる機会を工夫していく。

学校の保健体育の授業以外での運動やスポーツについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

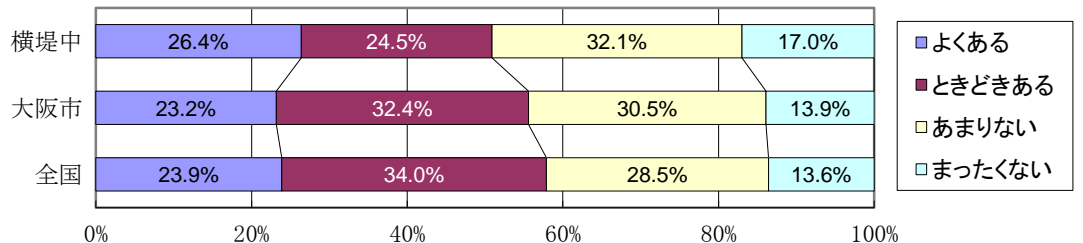
4

ふだんの1週間について聞きます。学校の保健体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを、合計で1日おおよそ何分くらいしていますか。



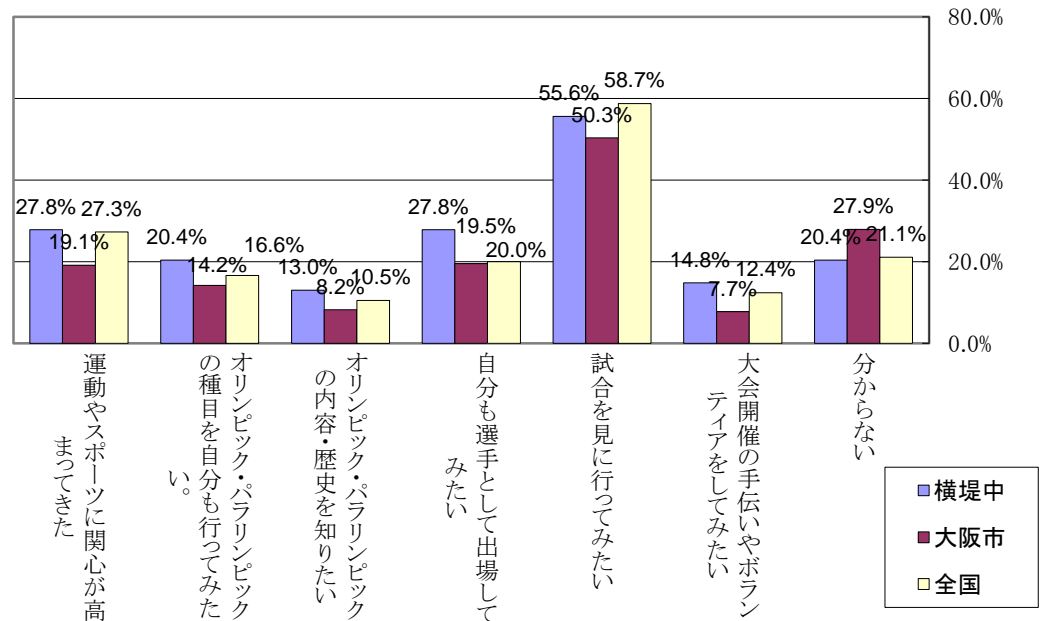
8

家の人から運動やスポーツを積極的にすすめられることはありますか。



10

オリンピック・パラリンピックを日本で行うことになりましたが、あなたの今の気持ちにあってはまるものをすべて選んでください。



成果と課題

- ・1週間の運動時間の合計では、全国平均を若干上回った。
- ・家の人から運動やスポーツを積極的にすすめられたことが「ある」と答えた生徒は2.5%上回ったが、「あまりない」「まったくない」生徒を合わせると5割近くになり全国平均を7%上回り、保護者の運動に関する意識の2極化がみられた。
- ・オリンピックにかかわる項目では、ほとんど全国平均を上回り、関心の高さがうかがわれる。

今後の取組

- ・運動部に入部していない生徒の運動量を確保するため、授業の工夫を図る。
- ・一昨年度から実施しているトップアスリートや専門的な技術指導者からの実技指導を継続し、スポーツへの関心を高めていく。
- ・オリンピックへの関心を高められるよう、歴史や文化などの情報を生徒に伝えていく。

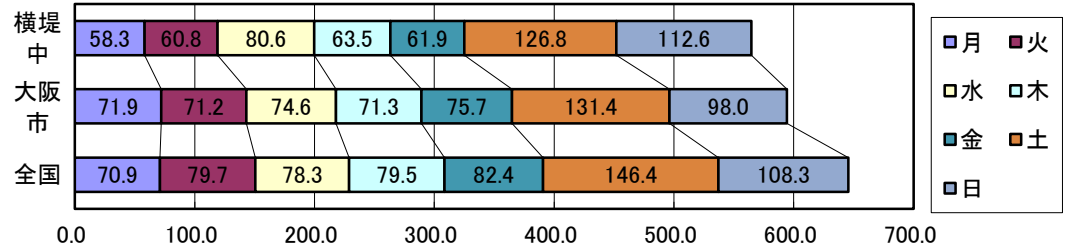
学校の保健体育の授業以外での運動やスポーツについて（女子）

質問
番号

質問事項

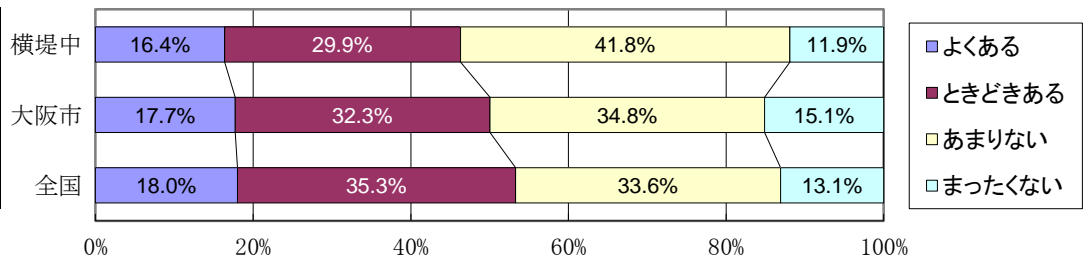
4

ふだんの1週間について聞きます。学校の保健体育の授業以外で、運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツを、合計で1日およそ何分くらいしていますか。



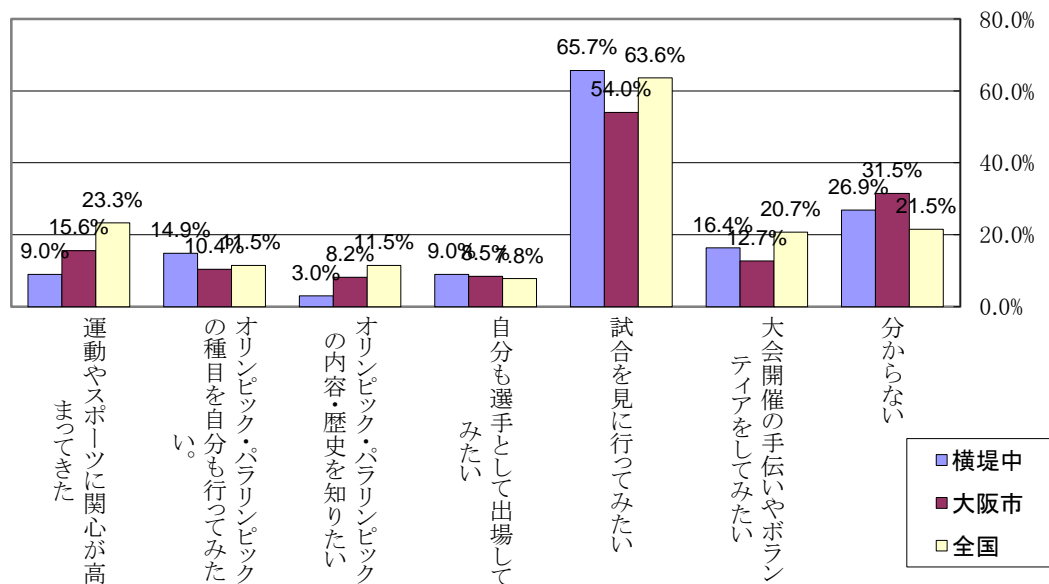
8

家の人から運動やスポーツを積極的にすすめられることはありますか。



10

オリンピック・パラリンピックを日本で行うことになりましたが、あなたの今の気持ちにあてはまるものをすべて選んでください。



成果と課題

- ・1週間の運動時間では、全国・大阪市平均とも大きく下回った。
- ・家の人から運動やスポーツを積極的にすすめられたことが「ある」「ときどきある」と答えた生徒は46.3%と全国・大阪市平均とも下回った。
- ・オリンピックにかかわって、「オリンピックの種目を自分でも行ってみたい」「選手として出場してみたい」「試合を見に行ってみたい」の項目は全国平均を上回り、能動的にオリンピックにかかわりたいという意識がうかがわれた。

今後の取組

- ・本校の2年女子は文化部に所属している生徒が圧倒的に多いため、授業のなかでより運動量を増やしていく。
- ・体づくり運動の単元を積極的に取り入れ、生徒が生涯にわたって気軽に体を動かせるような知識を高めていく。
- ・オリンピックに関して、スポーツの始まりや発展、文化的な働きを学習する機会を設けていく。

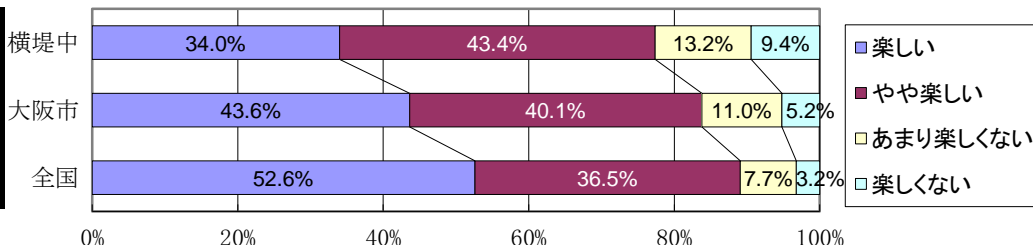
保健体育の授業について（男子）

質問
番号

質問事項

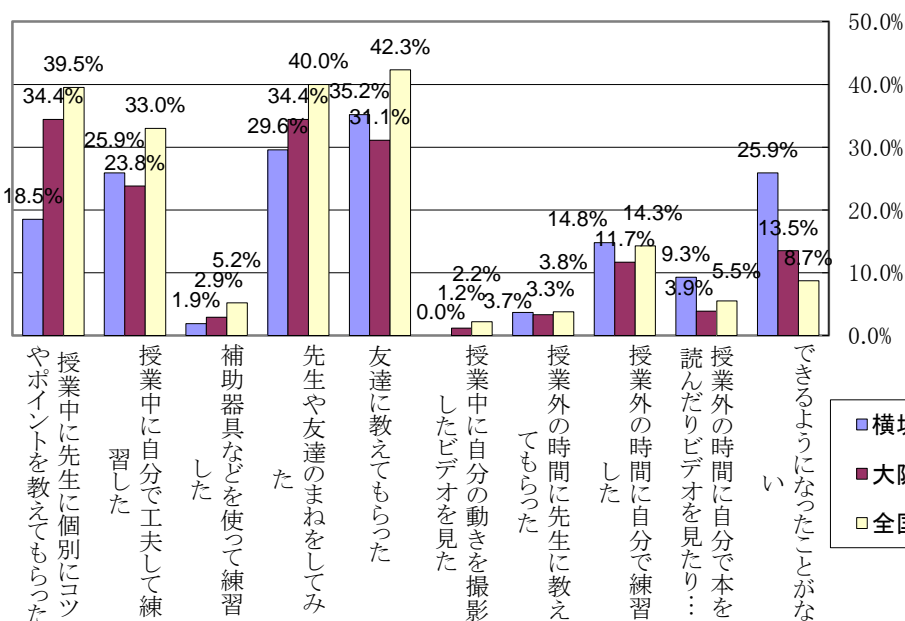
11

保健体育の授業は楽しい
ですか。



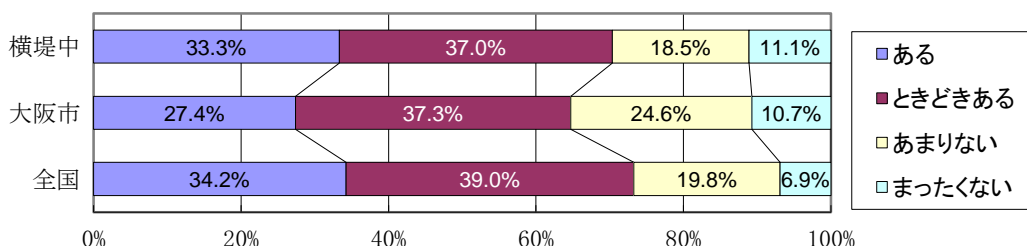
20

これまでの保健体育の授業
で「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、
理由はどのようなものがあり
ましたか。



23

保健の授業で学んだからだの
ことや健康のことを、体育実技
の授業や放課後に運動（体を
動かす遊びを含む）やスポー
ツを行う時に思い出したり、実
際に使うことはありますか。



成果と課題

- ・保健体育の授業が「楽しい」と答えた生徒は全国平均より18.6ポイント低く、一方、「楽しくない」「あまり楽しくない」と答えた生徒を合わせると全国の2倍を超えた。
- ・「できなかったことができるようになった」きっかけについては、「授業中に自分で工夫して練習した」「友達に教えてもらった」の項目で大阪市平均を上回り、授業外の時間で自分で取り組んだ項目では全国平均を上回ったが、「できるようになったことがない」と答えた生徒が全国・大阪市平均から顕著に下回った。

今後の取組

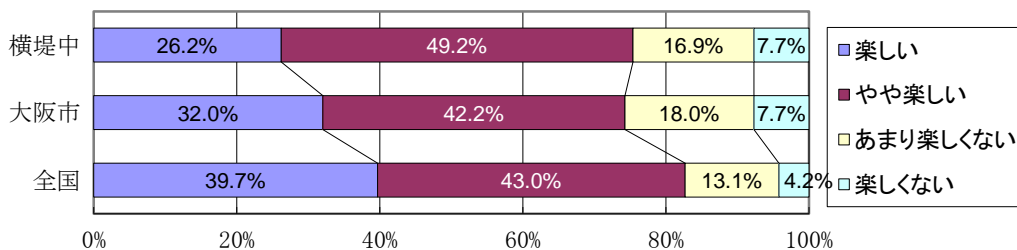
- ・授業を楽しいと思えるように、基礎体力運動を單元ごとに変更し、興味や関心を抱く授業展開を図る。
- ・授業中に「できなかったことができるようになった」きっかけとして、補助器具などを使用して練習することがほとんどできなかった。今後、体育教材の整備を進め、授業での活用を図る。

保健体育の授業について（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

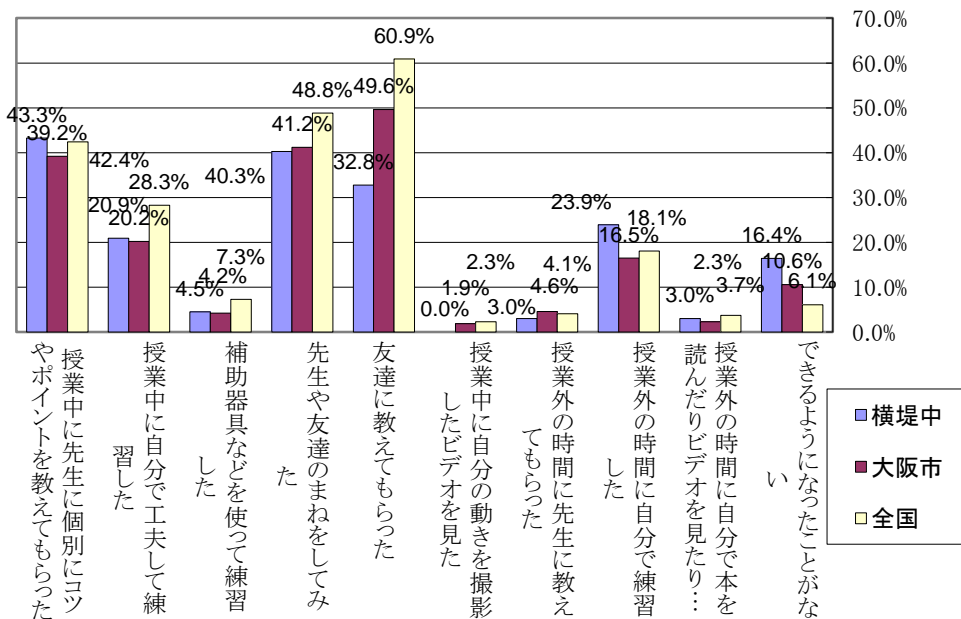
11

保健体育の授業は楽しい
ですか。



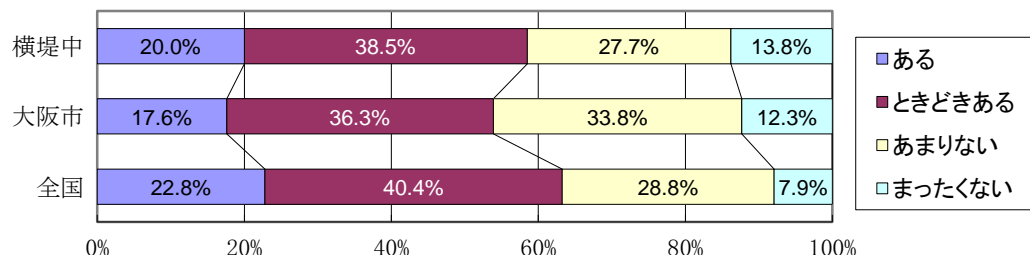
20

これまでの保健体育の授業
で「できなかったことができ
ようになった」きっかけ、
理由はどのようなものがあり
ましたか。



23

保健の授業で学んだからだの
ことや健康のことを、体育実技
の授業や放課後に運動（体を
動かす遊びを含む）やスポー
ツを行う時に思い出したり、実
際に使うことはありますか。



成果と課題

- ・保健体育の授業が「楽しい」と答えた生徒は全国平均より13.5ポイント低い、「やや楽しい」と合わせると大阪市平均を1.2ポイント上回った。
- ・「できなかったことができるようになった」きっかけについては、「授業中に先生に個別にコツやポイントを教えてもらった」「授業外で自分で練習した」の項目では全国平均を上回ったが、「授業中に自分で工夫して練習した」「先生や友達のまねをしてみた」など、自発的な行動の項目では全国平均から顕著に下回った。

今後の取組

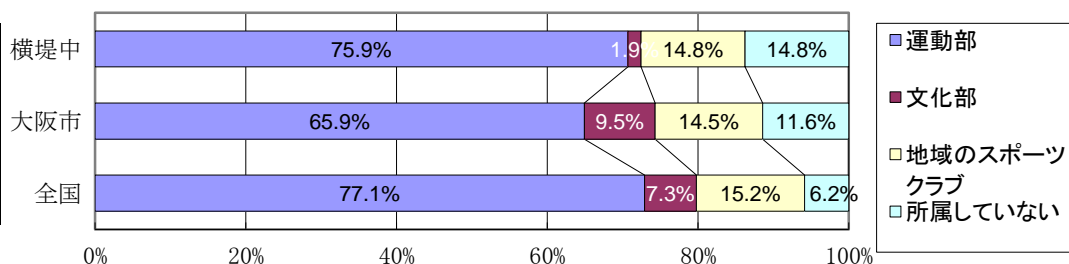
- ・課題を克服した生徒の理由には教師の助言による面が多かったため、来年度はこれに加えて、生徒がより自発的に行動できるような授業展開をしていく。
- ・「できるようになったことがない」と答える生徒の割合を減らすために、授業の中で生徒が自己評価をする機会を増やしていく。

部活動等のことについて（男子）

質問 番号	質問事項
----------	------

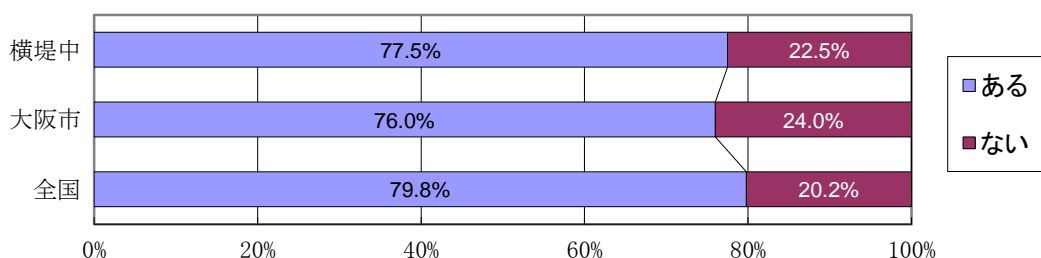
24

学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。あてはまるものすべて選んでください。



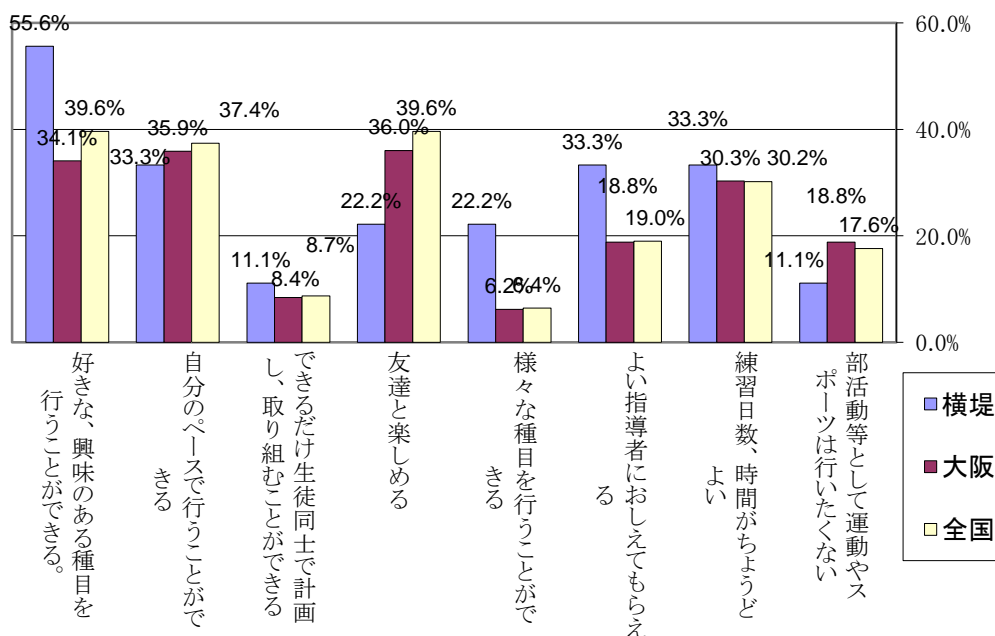
26

質問24で「運動部」と答えた人は、活動のあり方、内容、方法などについて、自分たちで考えたり、意見交換したり、顧問の先生や指導者と話し合ったりする機会がありますか。



27

質問24で「文化部」「所属していない」と答えた人（運動部や地域のスポーツクラブに所属していない）は、どのような条件があれば、運動部に参加したいと思いますか。



成果と課題

- ・学校の部活動や地域のスポーツクラブに「所属していない」生徒が14.8%と全国・大阪市平均を上回り、全国との差は顕著であった。
- ・本校は小規模校であったことから部活動の数が少なく、地域のスポーツクラブで活動している生徒への支援も行ってきたが、今後、生徒のニーズに応える部活動の在り方を検討していく必要がある。

今後の取組

- ・部活動入部率を全体の8割以上を目標に、各部活動様々な取組を行う。
- ・小中連携を通して、出前部活動や部活動体験などの機会を増やし、小学校時から運動部活動に興味、関心を持たせるよう図っていく。

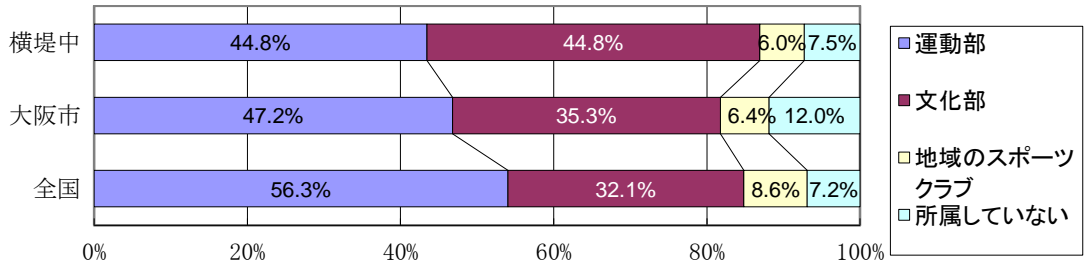
部活動等のことについて（女子）

質問
番号

質問事項

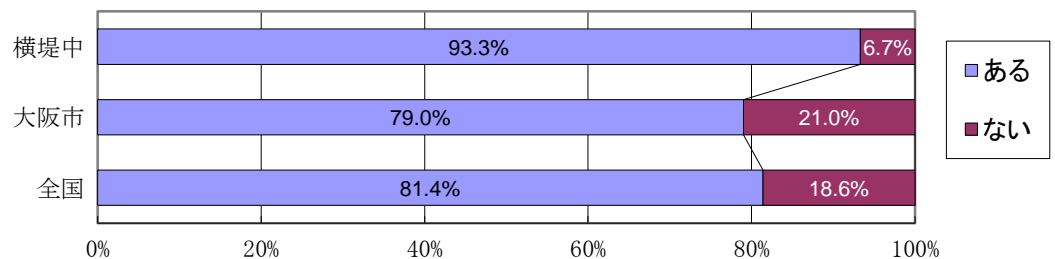
24

学校の部活動や地域のスポーツクラブに所属していますか。あてはまるものすべて選んでください。



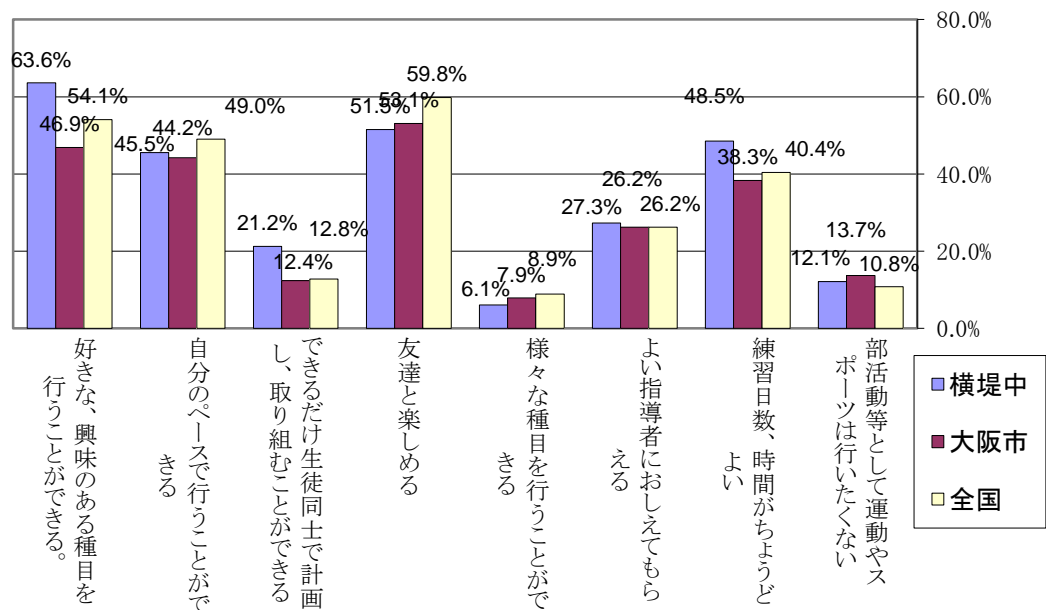
26

質問24で「運動部」と答えた人は、活動のあり方、内容、方法などについて、自分たちで考えたり、意見交換したり、顧問の先生や指導者と話し合ったりする機会がありますか。



27

質問24で「文化部」「所属していない」と答えた人（運動部や地域のスポーツクラブに所属していない）は、どのような条件があれば、運動部に参加したいと思いますか。



成果と課題

- ・学校の部活動においては、文化部に参加している生徒の割合が、全国・大阪市平均より高い。
- ・運動部の活動において、自分たちで考えたり、意見交換したり、顧問の先生と話し合ったりする機会が「ある」と答えた生徒が93.3%と全国平均を11.9%上回った。「横堤中学校 部活動8カ条」を作成し、平成25年度より生徒の自主的な運営に取り組んできた成果である。
- ・本校は小規模校であったことから部活動の数が少なく、地域のスポーツクラブで活動している生徒への支援も行ってきたが、今後、生徒のニーズに応える部活動の在り方を検討していく必要がある。

今後の取組

- ・来年度も「横堤中学校 部活動8カ条」を掲げ、生徒の自主的な運営に引き続き取り組んでいく。
- ・文化部や部活動に所属していない生徒の運動部に参加したい理由は「好きな、興味のある種目を行うことができる」項目が高いため、部活動数を増やしていく際は生徒アンケートをとるなど生徒のニーズをしっかりと把握しながら検討していく。